

メディア | NHKアーカイブス

デジタル時代のコンテンツ施策の一環として、放送した番組・ニュースおよびこれらの素材などを、NHKアーカイブス（埼玉県川口市）を中心に体系的に保存・管理している。

[1] 3つの機能

保存…NHKが制作・放送した番組・ニュース等のコンテンツを資産として〈保存〉する。

活用…放送での利用や外部への提供などコンテンツを多角的に〈活用〉する。

公開…保存コンテンツの視聴者への〈公開〉などにより社会還元を進める。

[2] 保存

項目	内容
① 放送番組等の保存	<ul style="list-style-type: none"> 放送した番組・ニュースおよび、これらの素材などを、NHKアーカイブス（埼玉県川口市）を中心に体系的に保存・管理。 2022年度末の保有数（東京管理） ニュース映像：266万5,000項目、番組：97万4,000本、ニュース原稿163万7,000本（全国計は、ニュース映像：929万3,000項目・番組：114万4,000本）、写真50万7,000枚、音楽CD35万6,000枚、レコード30万4,000枚、図書・雑誌は22万9,000冊、楽譜8万8,000冊。
② ファイルベースの対応	<ul style="list-style-type: none"> 地方局ニュースはテープからLTOへ収録する作業を2022年度内に完了。2016年9月から本部での受け入れを開始し、2022年度末までに約492万項目を登録。 地方局のファイル送出開始後のニュース素材は2017年2月からXDCAMで受け入れを始め、約119万項目を登録。 各局制作の番組はXDCAMに収録して2018年1月に受け入れを開始し、2022年度末までに2,558番組を登録。 川口を含む全国に保管されているフィルム映像で動画参照できないものを「見える化」し映像資産化に着手。グループ戦略局、地域改革支援局と連携し、地方局のフィルム映像の輸送を開始した。
③ コンテンツの管理	<ul style="list-style-type: none"> 2019年から4K8Kの本格的な保存を開始。2022年度は4K番組を2,520本、8K番組を500本保存。
▶ ニュースコンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> 原稿と映像のデータベース化を進め、ニュース原稿は、全国放送用とウェブ特集原稿を登録し、必要に応じて事件原稿などへの匿名化措置を実施。 ニュース映像は、全国のニュース番組の編集済み映像の保存とメタデータの補完を継続して実施。 1980年代後半～90年代前半に全国と首都圏で放送された過去のニュース番組について、放送同録、編集済み映像、原稿を体系的に整理。
▶ 音楽・図書	<ul style="list-style-type: none"> 音楽資料約74万9,000点と、図書資料約22万9,000冊を保存。
④ MCG（マルチユース・コンテンツ・グループ）素材再利用アドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> アーカイブ映像の再利用に関する相談窓口を新設。制作担当者からの約700件の問い合わせに対し、個別映像の元番組の権利情報や当時の制作担当者の現所属情報などを調査・回答し、制作現場をサポートしている。
⑤ 番組発掘プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> NHK未保存の番組を掘り起こす「番組発掘プロジェクト」。番組の出演者や脚本家、制作スタッフなど当時の関係者にテープやフィルム、台本の提供を呼びかけた。 2022年度は新たにテレビ番組1,125本、音声番組1,270本を発掘、保存した。歴史エンターテインメントの先駆け「歴史への招待」（1978～84年）は29本を発掘、残り4本に。人気工作番組「できるかな」（1970～90年）や文楽をはじめとした古典芸能番組も数多く発掘。年間の合計は2,395本と過去最多となり、プロジェクト発足から10年で累計16,225本を発掘した。 発掘した番組は、首都圏番組「ひるまえほっと」や「発掘！ラジオアーカイブス」、川口で開催された上映会イベントでも活用された。アニメと実写を融合した「マルコ・ポーロの冒険」、少年ドラマシリーズ「電気博士」は「プレミアムカフェ」[BSP]で放送。川口20周年のイベントでは、「できるかな」のゴン太くんや「プリンプリン物語」「ブルルくん」の人形とともに発掘映像を展示・公開した。

[3] 活用

項目	内容
① アーカイブス番組	<ul style="list-style-type: none"> 「あの日 あのとき あの番組」[G]では、視聴者が「いま見たいコンテンツ」にこだわり、ドキュメンタリーから人形劇まで、幅広いジャンルで過去の話題作を取り上げた。 「NHK映像ファイル あの日に会いたい」[G]では、2022年度に亡くなった人々を中心に、各界の著名人の“英知の言葉”を紹介。 「プレミアムカフェ」[BSP]では、過去のBS番組を中心に教養・文化・エンターテインメントなどの話題作を親しみやすいスタジオ演出とともにラインナップ。 「よみがえる新日本紀行」[BSP][BS4K]では、「新日本紀行」の16ミリフィルムを最新のデジタル技術で高画質化、舞台となった土地の今を訪ねるミニ紀行とともに放送。「NHK特集」『ふたりのビッグショー』[BSP][BS4K]、『人形歴史スペクタクル・平家物語』[G]など、かつての話題作も数多く高画質化して放送。 2023年2月のテレビ放送開始70年では、「テレビ70年記念ドラマ「大河ドラマが生まれた日」」「カラーでよみがえる大河ドラマ第1作「花の生涯」」「蔵出し映像まつり」など映像資産を生かす特集番組を放送した。
② 提供（二次使用）	<ul style="list-style-type: none"> NHKアーカイブスに保存されている番組や映像素材などは、外部事業者の求めに応じて二次使用のルールにのっとり、関連団体を通して提供。ニュース原稿は業務委託先を通して、日経テレコン、ジー・サーチの外部データベースに提供。

[4] 公開

項目	内容
① アーカイブスポータルサイト	<ul style="list-style-type: none"> 「アーカイブスポータルサイト」は、アーカイブ映像をテーマ別に短く再編集した約3万本の動画と関連記事を配信。
▶ NHK放送史	<ul style="list-style-type: none"> NHKの代表的な番組のダイジェスト動画約3,800本、ニュース約4,300本を紹介、デジタルサイネージ展示でも公開。 歴代の『連続テレビ小説』と『大河ドラマ』をまとめて紹介するコーナーや「マンガで読むNHKヒストリー」などのスペシャルコンテンツも紹介。
▶ NHK人物録	<ul style="list-style-type: none"> NHKの主な出演者約2,700人を過去の出演番組動画で紹介。毎週2人の出演者を取り上げ、これまでの出演番組についてのインタビューを掲載した。アーカイブに残されたインタビューの中から際立った個性を持つ10人の言葉を取り上げた『偉人の言葉 Archived by NHK』シリーズの第2弾となる3本を制作。

▶みちしる	<ul style="list-style-type: none"> ・全国およそ4,000か所の名所旧跡、伝統行事、特産物などを動画で紹介し、専門家などによる鉄道や温泉などの特集記事を掲載。 ・東北・上越新幹線40周年、山形新幹線30周年、秋田・北陸（長野一高崎）新幹線25周年などに合わせ、各新幹線開業第1号の当時の映像を特集して公開。 ・地域局に最新技術の支援を行ってご当地のモノクロ映像をカラー化してもらい、地元局で放送した後に素材をクリップ化して公開する取り組みを開始。2022年度は松山局で実施。 ・徳島局ニュース番組のシリーズ「大杉平徳島を撮る」など地方制作コンテンツの紹介を継続。 ・国の分野横断統合ポータル「ジャパンサーチ」と連携し、「みちしる」が蓄積してきた映像を広く社会に役立てていくための取り組みを継続して実施。
▶戦争証言 アーカイブス	<ul style="list-style-type: none"> ・日米開戦80年を機に、プロジェクトセンターと共同で「NHK戦争を伝えるミュージアム」を公開。太平洋戦争を知りたいという声に平易な説明で応じるとともに、NHK内の各種戦争関連コンテンツをつないで、アクセシビリティを向上した。 ・終戦までをアーカイブスコンテンツでたどるページの制作を開始。80年前の出来事を日を追って追加した。 ・各局制作のニュース企画「シリーズ戦跡」をクリップ化し公開を継続。平和を考えるNHKコンテンツを広く公開。
▶災害アーカイブス	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の発災から72時間のニュースアーカイブスを引き続き公開。12年目を機に、震災から10年間の復興関連ニュースを時系列に沿って掲載する「東日本大震災10年発表」を追加して公開した。 ・神戸局が制作した阪神・淡路大震災の動画を引き続き公開するなど地域防災コンテンツの公開を行った。 ・時論公論など、解説委員による過去の災害・防災に関する解説をクリップ化し公開する企画を開始した。
▶クリエイティブ・ ライブラリー	<ul style="list-style-type: none"> ・「連続テレビ小説」「ちむどんどん」「舞いあがれ！」と連動し、各放送回末尾5秒の作品投稿を受け付けた。 ・「ヒヤダ・体育のワンルーム☆ミュージック」と連動し、人気音楽ユニットYOASOBIのAyaseが作った音源をダウンロード配布。その音源素材を使って自由にリミックスした作品を募集する「ツバメリミックスチャレンジ」の企画を展開。投稿された作品の中で、番組でも紹介された作品をサイトでも紹介したほか、さらに出演者がリミックスした楽曲が「みんなのうた」でも放送された。 ・サイト全体の提供素材は、自然番組から切り出した生き物の素材、日本や世界各地の風景素材、CG動画やニュース映像など約7,300本に上った。
▶アーカイブSNS	<ul style="list-style-type: none"> ・アーカイブSNSは、Facebook、Twitter登録者数合計が約40万人になった。 ・アーカイブポータル掲載動画の地域局でのSNS利用を進め、各局投稿のリツイートも実施して地域局支援を行った。 ・「テレビ70年記念ドラマ「大河ドラマが生まれた日」」の放送告知を兼ね、「大河ドラマ」を最新のものから1日1作ずつ遡りながら、その年のニュースや番組を動画とともにTwitterで紹介した。 ・災害アーカイブスのコンテンツを、FacebookとTwitterで公開、その災害があった日付に周知した。
▶イベント連携	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ70年関連で放送博物館で開催された「イからZ展」、新宿住友ビル三角広場で開催された「超体験NHKフェス」に、アーカイブポータルコンテンツを多数提供し、来場者が二次元バーコードで視聴できるようにした。 ・展開センターと連携し「ゲルニカが来た！大迫力の8K映像空間」展に関連した動画を公開したほか、「生誕120年 棟方志功」展に関連したラジオ音声クリップを公開。 ・23の地域局に二次元バーコード付き展示パネルを提供したほか、千葉局、山形局、水戸局では各県関連の番組・ニュースを紹介する二次元バーコード付き展示パネルを作成して掲示を行った。
▶テレビ70年	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ放送開始70年に合わせてほぼ全ての定時番組と、主な特集番組を、番組ダイジェスト動画と、13のジャンルの系譜記事や年表と合わせて紹介。テレビ放送史全体を概観できる内容にした。 ・知財センター制作の「テレビ70年記念ドラマ「大河ドラマが生まれた日」」の特設ページを設け、出演者やスタッフのインタビュー記事を公開したほか、SNSで毎日広報動画を投稿するなど、新しい広報展開も行った。
② 番組公開ライブラリー	<ul style="list-style-type: none"> ・NHKが過去放送した番組の一部を無料で視聴できる設備。NHKアーカイブスや全国の放送局など57か所に設置。2022年度も新型コロナウイルスの感染拡大のため、多くの施設で臨時休止が相次いだ。全国の利用者数は4万7,582人で、コロナ禍前の2019年度（18万8,751人）を下回った。 ・2022年度末で視聴できる番組は1万1,318本（テレビ：1万6,866本・ラジオ：632本）。2022年度は、旭川放送局と連携した三浦綾子生誕100年のイベント展開と連動して、三浦綾子のドキュメンタリーなど関連番組を集中的に公開した。
③ 学術利用トライアル	<ul style="list-style-type: none"> ・放送資産を学術研究に役立て社会貢献を行うことを目的に、「学術利用トライアル」を2010年3月から試行的に実施。 ・新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底し、放送博物館と大阪局、NHKアーカイブスで番組の閲覧を行った。 ・2022年度は18件が採択、研究論文の提出は2件。開始から2022年度末までに計253件が採択、122件の研究論文の提出。102件は学会などでの研究発表が行われた。
④ NHKティーチャーズ・ ライブラリー	<ul style="list-style-type: none"> ・NHKの番組を授業で利用するためのサービスで、2009年度から、全国の小・中・高等学校等の学校に「NHKスペシャル」などドキュメンタリーを中心とした放送番組のDVDを無料で貸し出している（送料のみ負担）。2022年度は312タイトルを準備し、1,700件超の利用があった。 ・「キャリア」や「平和」「人権」関連の番組利用が目立った。 ・2021年度に引き続き「進路・就活応援特集」としてキャリア関連の番組を中心に41番組をオンライン配信した。 ・アーカイブ映像を回想法（懐かしい物や映像を見て思い出を語り合うことで認知症の進行予防をする療法）で利用できるように、2015年10月からホームページで提供。
⑤ NHK回想法ライブラリー	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度からは高齢者施設を対象にDVD第1巻「むかしの暮らし、むかしの日本各地」の貸し出しを開始し、その他、「むかしの道具・むかしの家・きょうの蔵出しNHK」、「思い出の皇室」、「思い出のニッポン①・②」などのテーマを追加し、2022年度は全5巻のDVDを貸し出した。全国およそ10,000施設が利用。
⑥ イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・NHKアーカイブスでは「番組公開ライブラリー」の利用促進やCS活動の目的で、保存番組を活用したイベントを実施。 ・2022年度は、名作映画のサントラ盤レコードの展示・試聴イベントを7月から8月に行った。 ・2023年2月には[EBS]「プレミアムカフェ」公開収録で、視聴者から「発掘」された約40年前のアニメ「マルコ・ポーロの冒険」を上映。 ・NHKアーカイブスの20周年を記念して、2023年3月に、NHKの名作ドラマ・音楽番組の「上映」と、人気キャラクターなどの「展示」を融合したイベントを開催した。 ・地域展開の試みとして旭川放送局と連携。地元の作家、三浦綾子原作のドラマ上映イベントを開催し、約570人の来場客を集めた。
⑦ 国際機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・海外のアーカイブスに関する最新の動向把握と、NHKアーカイブスの保存・活用・公開の取り組みを海外に発信するために、国際テレビアーカイブ連盟（FIAT）、東南アジア太平洋地域視聴覚アーカイブ連合（SEAPAVAA）、デジタル・プロダクション・パートナーシップ（DPP）などの国際機関と連携・協力を図った。 ・10月に開催されたFIAT総会では、「再利用を想定したSHV（4K・8K）保存」に関するプレゼンを実施し、各国の参加者から反響が寄せられた。